

Title	中国古典戯曲総合データベースの発展的研究
Sub Title	An advanced study on comprehensive database of Chinese classic operas
Author	千田, 大介(Chida, Daisuke) 二階堂, 善弘(Nikaido, Yoshihiro) 山下, 一夫(Yamashita, Kazuo) 師, 茂樹(Moro, Shigeki) 川, 浩二(Kawa, Koji)
Publisher	
Publication year	2011
Jtitle	科学研究費補助金研究成果報告書 (2010. )
JaLC DOI	
Abstract	中国古典戯曲全文データベース・古典戯曲関連用語データベース・周辺資料データベースおよび曲律分析システムなどを包含する「中国古典戯曲総合データベース」の実現に向け、データの整備および分析理論・手法の考究とシステムの開発を進めた。本研究期間内にはMediaWikiに基づくデータベースシステムを初期的に完成させ、各種文献のデジタル化・校訂・整理を進めるとともに、それらをデータベースに登録するスキーマを策定した。また『中原音韻』テーブルに基づく曲韻表示システムを作成し、中国古典戯曲総合データベースを初期的に公開した。
Notes	研究種目：基盤研究(C)  研究期間：2008～2010  課題番号：20520338  研究分野：人文学  科研費の分科・細目：文学・各国文学・文学論
Genre	Research Paper
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KAKEN_20520338seika">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KAKEN_20520338seika</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

機関番号：32612

研究種目：基盤研究（C）

研究期間：2008～2010

課題番号：20520338

研究課題名（和文） 中国古典戯曲総合データベースの発展的研究

研究課題名（英文） An Advanced Study on Comprehensive Database of Chinese Classic Operas

研究代表者

千田 大介（CHIDA DAISUKE）

慶應義塾大学・経済学部・教授

研究者番号：70298107

研究成果の概要（和文）： 中国古典戯曲全文データベース・古典戯曲関連用語データベース・周辺資料データベースおよび曲律分析システムなどを包含する「中国古典戯曲総合データベース」の実現に向け、データの整備および分析理論・手法の考究とシステムの開発を進めた。本研究期間内には MediaWiki に基づくデータベースシステムを初期的に完成させ、各種文献のデジタル化・校訂・整理を進めるとともに、それらをデータベースに登録するスキーマを策定した。また『中原音韻』テーブルに基づく曲韻表示システムを作成し、中国古典戯曲総合データベースを初期的に公開した。

研究成果の概要（英文）： Toward the publication of the Comprehensive Database of Chinese Classic Operas, which consists of the Chinese classic opera full-text database, the terminology database for Chinese classic opera studies, the knowledge base for Chinese classic opera studies, the phonological analysis system of Chinese classic operas, and so on, we made data organization, methodological studies for text analysis and system development. After that we accomplished the prototype of the Comprehensive Database running on MediaWiki. We made proofreading and textual criticism of digitized materials, and the schema for registration of those materials was designed. Moreover we developed the phonological information display system based on Zhongyuan yinyun, and published the prototype of the Comprehensive Database.

交付決定額

（金額単位：円）

	直接経費	間接経費	合計
2008 年度	1,500,000	450,000	1,950,000
2009 年度	1,000,000	300,000	1,300,000
2010 年度	1,000,000	300,000	1,300,000
総計	3,500,000	1,050,000	4,550,000

研究分野：人文学

科研費の分科・細目：文学・各国文学・文学論

キーワード：中国古典戯曲、人文情報学、MediaWiki、雑劇、伝奇、中原音韻

## 1. 研究開始当初の背景

中国古典研究への情報処理技術の応用は、1990 年代以降、台湾中央研究院の漢籍電子文献、中国の『四庫全書』『四部叢刊』さらには『中国基本古籍庫』といった数億字規模のデータベースが次々と開発されたことで、大きく進展した。

一方、それらが提供するのとは単純な字句検索機能だけであり、ユーザーが独自の方法でデータを検索・分析することもできない。古典戯曲に関しても、『六十種曲』（国学）・『全元曲』（大陸の複数のソフトハウス）といった CD-ROM 製品が発売されているが、いずれもデータが簡体字であり、しかも曲辞と

科白を区別して検索することができないなど、専門研究のニーズに応えるものではない。

このように、専門研究の発展に貢献しうる高度な分析・検索システムの開発と、高度なクオリティを持ちながらだれもが自由に使えるフリーデータの蓄積が、人文学情報化における新たな課題となっている。

かかる問題意識から、申請者は学術振興会科学研究費補助金（基盤研究（C）平成 17～19 年度）の研究課題「中国古典戯曲総合データベースの基礎的研究」を通じて、情報技術を応用した研究手法の検討およびデジタル研究インフラの整備を進めており、既に『六十種曲』などのサンプルデータをインターネット上に公表している。

これら従来の成果を継承・発展させ、中国古典戯曲総合データベースの実用化に向けた作業を継続するとともに、新たな人文学研究手法を考究・確立するために、本研究が着想された。

## 2. 研究の目的

本研究は、中国古典戯曲総合データベースの構築を通じて情報処理技術の応用による新たな人文学研究方法を考究・確立することを最終的な目的とするが、本研究期間中においては、将来におけるデータベースの継続的発展を見据えて、具体的に以下の課題に取り組む。

- (1) 曲律分析システムの改善・実用化
- (2) 戯曲全文データの拡充
- (3) 戯曲用語データベースの設計・構築
- (4) 周辺資料全文データの統一フォーマットの開発

研究・開発にあたっては、中国古典戯曲研究に有効なデータベースとなるよう、人文学と情報工学との有機的な結合を目指す。本研究期間を通じて、古典戯曲総合データベースの専用サーバを稼働し、古典戯曲総合データベースの部分的稼働を実現することが、最終的な目標である。

## 3. 研究の方法

本研究では、中国古典戯曲本文データベースおよび戯曲周辺資料データベース・戯曲用語データベース・韻律分析システムなどを包含する中国古典戯曲総合データベースの実現に向けた構築を進める。

前述のように、従来の中国古典文献データベースが提供する機能は、単純な語彙検索機能に留まっており、人文学研究のニーズに見合った検索・分析機能を持つものは少ない。本研究では、古典戯曲研究・白話文学研究・音韻学などにおける学術的有用性を高めるため、各学術分野においてどのようなデータを抽出すればよいか、あるいはどのような分析機能が必要とされているかをまず考究し、

その結果をデータベースのスキーマや諸機能に反映させる方法を探る。これによって、人文学研究の現状に即したデータベースの開発を実現する。

また、本研究の成果として中国古典戯曲総合データベースを公開するとともに、開発したツール・プログラム・テーブルなども Web を通じて提供する。プログラムの作成などによる知財権取得は行わず、むしろデータ・分析方法・プログラム等をオープンソース化することによって、情報時代に対応した中国学研究ノウハウの蓄積を図る。

## 4. 研究成果

本研究終了時におけるデータベースの公開を視野に、データベースシステムの選定を進め、SQL ベースで動作し多機能かつカスタマイズが容易な MediaWiki の採用を決定した。その上で、MediaWiki の機能・特長などを分析し、戯曲戯曲全文・戯曲用語・目録など各種データの登録フォーマットを策定した。

### (1) 曲律分析システムの改善・実用化

『中原音韻』の電子テキストに基づき、研究分担者・山下が音韻処理用テーブルの作成・改善を行い、Unicode BMP の主要漢字を網羅するテーブルを完成させた。同テーブルに基づき、研究分担者・師が MediaWiki 上で動作する曲文の音韻情報表示プログラムを完成させた。

### (2) 戯曲全文データの拡充

従来の研究を通じて既に XML フォーマットによる電子テキスト化が完了していた『元曲選』・『孤本元明雜劇』・『六十種曲』に加えて、新たに『元曲選外篇』・『盛明雜劇』・『同二集』・『雜劇三集』・『風月錦囊』等を電子テキスト化し、異体字の統一・カテゴリ情報の付与等、データベース登録に向けた整形作業を進めた。

また、既に入力済みであった明代万暦年間に金陵の書肆・富春堂によって刊行された弋陽腔系とされる伝奇の校訂作業を進め、『白袍記』・『東窓記』・『韓湘子昇仙記』三種の翻刻本を完成させた。また、MediaWiki 上で曲・白などの抽出に適したデータフォーマットを策定するとともに、戯曲の文体に対応した XML タグの変換表示システムを開発した。

### (3) 戯曲用語データベースの設計・構築

戯曲用語データは、いわゆる古白話語彙、および曲牌名・人名・戯曲演劇用語といった戯曲関連語彙の二つに分かれる。

古白話語彙に関しては、既に著作権が失効している『詩詞曲語辞匯』の全文を電子テキスト化し、また著作権保護期間内の辞書、『近代漢語大詞典』・『詩詞曲小説語辞大典』・『戯曲詞語匯』・『元曲詞』・『宋元明清曲辞通』・『古典戯曲外来語考釈辞典』・『中國古典小説用語辞典』・『元曲熟語詞

典』・『詩詞曲語詞例釈』等については、辞書項目および収録ページ番号を電子テキスト化した。それらの辞書項目を一括検索し語釈あるいは原書の収録ページを表示するよう、見出し語の繁体字統一作業、および MediaWiki への登録フォーマットの策定を進めた。

戯曲関連語彙についても著作権の有効・無効に応じて同様に対応し、『中国曲学大事典』・『戯曲曲芸詞典』・『中国古典戯曲存目彙考』・『明清伝奇綜録』・『古本戯曲劇目提要』・『方志著録元明清曲家伝略』・『中国古代戯曲家評伝』・『明清戯曲家考略』・『九宮大成南北詞宮譜』などの目次を電子テキスト化し、戯曲用語・作品名・人名・曲牌名などごとに、固有名詞・タームの整理と ID 番号付与作業を進めた。また、本研究の一環として作成している「劇説校注 附：訳注稿」の注釈を、固有名詞やタームの語釈に転用するための整理作業を進めた。

#### (4) 周辺資料全文データの統一フォーマットの開発

今後の中国古典戯曲周辺資料たる各種筆記小説の本格的なデジタル化の推進を視野に、従来の研究を通じて電子テキスト化が完了していた清・褚人穫の『堅瓠集』について、その XML スキーマおよび MediaWiki 登録フォーマットの作成を進めるとともに、そのデータを Web 公開した。

以上、本研究において解決された課題およびその方法等について、論文・口頭発表を通じて公表した。また、データベースへのデータ登録を進め、中国古典戯曲総合データベースを初期的に一般公開した。

#### 5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

##### [雑誌論文](計 11 件)

山下 一夫「校正《韓湘子昇仙記》稿」, 『中国古典戯曲総合データベースの発展的研究』研究成果報告書, 2011 年, 査読無, pp. 縦 148 ~ 179

千田 大介「校正《白袍記》稿」, 『中国古典戯曲総合データベースの発展的研究』研究成果報告書, 2011 年, 査読無, pp. 縦 90 ~ 119

山下 一夫「『中原音韻』音韻テーブル開発における諸問題」, 『中国古典戯曲総合データベースの発展的研究』研究成果報告書, 2011 年, 査読無, pp. 31 ~ 36

師 茂樹「異なる文献間の数理的な比較研究をふり返る」, 『文字と非文字のアーカイブズ/モデルを使った文献研究』, 2011 年, 査読無, pp. 31 ~ 38

川 浩二・千田 大介・氷上 正・山

下 一夫「劇説校注 附：訳注稿(八)」, 『中国都市芸能研究』第九輯, 2010 年, 査読無, pp. 一 ~ 四三

千田 大介・二階堂 善弘・山下 一夫・師 茂樹「中国古典戯曲総合データベースの構築」, 『中国都市芸能研究』第九輯, 2010 年, 査読無, pp. 19 ~ 50

川 浩二・千田 大介・氷上 正・山下 一夫「劇説校注 附：訳注稿(七)」, 『中国都市芸能研究』第八輯, 2009 年, 査読無, pp. 一 ~ 三六

千田 大介「海寧皮影戯形成考」, 『中国都市芸能研究』第 8 輯, 2009, 査読無, pp. 37 ~ 88

千田 大介「京劇の黄昏 ~ 梅蘭芳の「消費」をめぐる」, 『中国同時代文化研究』第 2 号, 2009 年, 査読無, pp. 75 ~ 91

川 浩二・千田 大介・氷上 正・山下 一夫「劇説校注 附：訳注稿(六)」, 『中国都市芸能研究』第七輯, 2008 年, 査読無, pp. 一 ~ 五六

師 茂樹「東アジア因明文献データベースの構想とプロトタイプ作成」, 『人文科学とコンピュータシンポジウム論文集 サービス志向のデジタル技術へ ~ 人文科学のポテンシャル ~』, "Vol. 2008, No. 15", 2008, 査読有, pp. 179 ~ 185

##### [学会発表](計 4 件)

千田 大介「中国古典戯曲研究のデジタルインフラ整備」, 漢字文献情報処理研究会第十三回大会, 2010 年 12 月 18 日, 慶應義塾大学日吉キャンパス

師 茂樹「中国古典戯曲研究のための音韻表示システムについて」, 漢字文献情報処理研究会第十三回大会, 2010 年 12 月 18 日, 慶應義塾大学日吉キャンパス

師 茂樹「東アジア因明文献データベースの構想とプロトタイプ作成」, じんもんこん: -)2008 人文科学とコンピュータシンポジウム, 2008 年 12 月 21 日, 筑波大学・つくばキャンパス

千田 大介「中国古典戯曲データベース化の諸問題について」, 中国都市芸能研究会 2008 年度前期大会, 2008 年 6 月 7 日, 慶應義塾大学日吉キャンパス

##### [その他]

ホームページ等

<http://ccddb.econ.hc.keio.ac.jp/wiki/>

#### 6. 研究組織

##### (1) 研究代表者

千田 大介 (CHIDA DAISUKE)  
慶應義塾大学・経済学部・教授  
研究者番号: 70298107

(2)研究分担者

二階堂 善弘 (NIKAIDOU YOSHIHIRO)

関西大学・文学部・教授

研究者番号：70292258

山下 一夫 (YAMASHITA KAZUO)

神田外語大学・外国語学部・准教授

研究者番号：20383383

師 茂樹 (MORO SHIGEKI)

花園大学・文学部・准教授

研究者番号：70351294

(3)連携研究者

無し

研究協力者

川 浩二 (KAWA KOJI)

早稲田大学・文学学術院・講師